

発行 福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804

春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階

TEL 092-584-3785

FAX 092-584-3369

Email kosodate@fuku-shakyo.jp



「平成21年度子育て支援研修会
子育て支援にかたろう」託児室で撮影



笑顔満開

子育て支援事業推進室では、先月「平成21年度 子育て支援研修会 子育て支援にかたろう」を開催しました。この研修会は、地域に出かけお母さん・お父さん、子育て支援者のみなさんと語り合いながら作り上げた研修会です。当日は、子育て中の方、子育てサロンや支援活動に取り組んでいる方など110名の方に参加いただき、子育て現場の現状、これからの子育て支援の課題について勉強しました。研修会が終わり会場を後にされるみなさんの表情から“明日からまた地域でサロン活動や支援活動を頑張っていこう”

という熱い思いを感じました。みなさんの笑顔を見て、県内の子育てサロンや支援活動がさらに充実し子育て支援の輪が広がっていくことだろうと確信しています。

子育て中のみなさん、地域で支援活動に取り組んでいるみなさん、これからも一緒に頑張っていきましょう。

(子育て支援事業推進室)

もくじ

- 平成21年度子育て支援研修会 子育て支援にかたろう……2~3
- こども写真館 …………… 2
- 繋々ポNEWS (お知らせ) …………… 4

地域に広がれ！子育ての輪！



福岡県社会福祉協議会では、平成21年11月29日（日）に福岡市で、「平成21年度子育て支援研修会 子育て支援にかたろう」を開催しました。

講師に大阪人間科学大学・大阪薫英女子短期大学 副学長の原田正文先生、実践報告に熊本県から山東子育て応援団 代表 村上千幸さん、鹿児島県から社会福祉法人 始良町社会福祉協議会 総務課長 折田浩二さん、福岡県から筑豊子育てネットワーク「かてて！」代表 渡邊福さんをお招きして、みんなでこれからの子育て支援について考えました。



原田正文先生に「子育て支援の現状と課題」-子育て実態調査「兵庫レポート」と子育て支援ボランティア活動より-と題して1980年の「大阪レポート」と2003年の「兵庫レポート」のデータを比較しながら、子育て現場の変化、これからの子育て支援について、お話いただきました。



大阪人間科学大学
大阪薫英女子短期大学 副学長

原田 正文 先生

子育て現場はこの20年の間に大きく変化しました。昔は、子どもが小さな子どもをおんぶしながら、両親の仕事の手伝いをするという光景がよく見られました。しかし、今は自分の子どもが生まれるまでに、小さな子どもにご飯を食べさせたり、おむつを替えた経験をしないうまま親になる人が増えています。そして、子育てについて話をできる相手がないお母さんが増え、子育て家庭の孤立化が深刻になっています。また、「子どもと一緒にいると楽しい」「子どもがかわいい」とほとんどのお母さんは答えますが、子育てでの負担感やイライラ感、育児不安を訴えるお母さんも増えています。その中で、大きな役割を担ってきたのが全国に自然発生的に生まれた子育てサロンです。

これからの子育て支援は、親の代わりに子どもをケアするのではなく、親自身を育て間接的に子どもを育てることが大切です。親同士や地域の人々との出会いの場になっている子育てサロンを増やし、一人で子育てしている親をなくす取り組みが必要です。また、子育てサロンの中に、親と親をつなぎ、お母さんが持っている力を引き出す役割をもつ専門のスタッフが入り活動していくことが大切です。



こども写真館



サンタさんからのプレゼントは何か？





山東子育て応援団

代表 **村上 千幸** さん
(熊本県)

山東子育て応援団は、熊本県植木町で81歳のおばあちゃんが住む築100年の民家で親子がお年寄りとふれあい、暮らしの知恵、伝統料理を学びながら、地域で子どもを育てる地域交流サロン「ばあちゃんち」を運営しています。保育所、老人クラブ、民生委員、食生活改善グループなど約40人が連携して立ち上がりました。

山東子育て応援団は、地域のみなさんすべてが団員です。みなさんに協力してもらいながら、畑で野菜を作り、その野菜を使った郷土料理を学んだり、収穫した大豆で納豆や豆腐作りに挑戦しています。子育てを直接的に支援するのではなく、親としての自信の回復と育児力の獲得に向けて「生き方・暮らし方」を見直すという思いで活動しています。

始良町は転入転出が多く、お母さんたちが孤立しがちでした。平成14年に子育てサロンを立ち上げ、最初は10組前後の参加でしたが、多いときには100組を越す親子が遊びに来てくれるようになりました。サロンの情報などを新聞や町報に掲載していますが、どこで知ったのかお母さんたちに聞いたところ、新聞や町報を見て訪れた人はほとんどいませんでした。お母さんたちを見ていて、お母さんたちにとって携帯電話が身近にあることに気付き、携帯電話に子育ての情報を配信しようと思い、運営委員会を立ち上げました。運営委員会には行政、警察、民生委員、小・中学校の先生など様々な方に関わってもらっています。たくさんの団体に関わってもらっていることで、子育てのイベント情報だけでなく、救急病院の情報、防犯の情報など幅広い情報を配信できるようになっています。



社会福祉法人始良町社会福祉協議会
総務課長 **折田 浩二** さん
(鹿児島県)

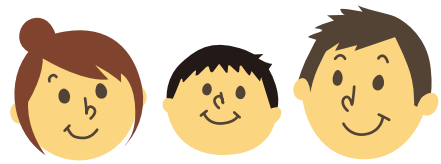


筑豊子育てネットワーク「かてて！」
代表 **渡邊 福** さん
(福岡県)

筑豊子育てネットワーク「かてて！」は立ち上げてから10年経ちます。初代の代表は、活動場所を確保するのが難しく公園でサロン活動を始めました。立ち上げ当初は、助成金の申請、子育て講演会などの活動実績作り、ネットワーク作りに取り組みました。今では「かてて！」のリーフレットや「かてて！」通信を市役所、子育て支援センター等に置いてもらったり、保健師さんに定期健診の時に配布してもらえるようになりました。長年の活動が実を結び、行政や他団体からの社会的信頼がもたれるようになりました。たくさんの方に名前を知ってもらえるようになり、「棚からぼた餅」式で協働イベントに誘われるようになりました。

研修会やイベントを開くときに、お母さんたちだけでは出来ないことがあるので、行政やボランティアグループと手を取り合って活動しています。

参加して下さったみなさんからは、「時代とともに変わった子育ての様子が良く分かりました。」「研修会に参加して情報をたくさん得ることができました。活動についても、自分たちの活動に役立てたいことがたくさんありました。」「保育園、社協、子育て中のお母さんそれぞれの立場からの支援を具体的に勉強できて参考になりました。今日学んだことを、自分の町でどう活かしていくかこれから考えます。」といった声をいただきました。この研修会をきっかけに、県内の子育て支援の輪がさらに広がっていくことを期待しています。



お知らせ

福岡県社会福祉協議会では、お母さん・お父さんの仕事と子育ての両立を応援するため、平成18年度から、緊急サポートネットワーク事業に取り組んできました。しかし、平成20年度をもって「緊急サポートネットワーク事業」は廃止となり、平成23年度までに将来のファミリー・サポート・センター事業で「病児・病後児の預かり」「緊急度の高い預かり」「宿泊を伴う預かり」の実施を目指すこととなりました。準備期間となる2年間は、ふくおか緊急サポートネットワーク事業という名称のまま、4市1町（大野城市、太宰府市、春日市、筑紫野市、那珂川町）で病児・病後児の預かり等について取り組みます。

今回、子育てのお手伝いをしてくださる援助会員として活動を希望される方への登録研修会を開催します。子どもを預かるうえで必要な、子どもの発達と心理、病気と看護方法、小児栄養、救命救急法などを勉強します。日程・会場は下記のとおりです。詳しくはふくおか緊急サポートセンターまでお問い合わせください。

援助会員登録研修日程及び会場

日程

平成22年1月20日(水)、21日(木)、
26日(火)、27日(水)、
28日(木)、29日(金)

会場

太宰府中央公民館(太宰府市)



現在の会員数 **396人** (11月末日現在)

依頼会員283人 援助会員100人 両方会員13人

ふくおか緊急サポートセンター(本部)

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室

TEL 092-584-3785 (担当 平本・大倉)



この情報誌は、共同募金の配分金を受けて発行しています。



大募集!

「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。
(子育て支援事業推進室)



今年も残すところあとわずかとなりましたね。先日、サロンのクリスマス会に声をかけていただきお邪魔してきました。突然部屋に現れたサンタクロースを見て一人の子どもが泣きだしたとたん、他の子どもたちにもうつってしまい、サロンの会場が泣き声の大合唱となりました。子どもたちは、お母さんにべったりくっつきながら、サンタさんからのクリスマスプレゼントを恐るおそる受け取っていました。きつとたくさんのサロンで楽しいクリスマス会が開催されているんですね。私も楽しい一時を過ごさせてもらいました。

先月、開催した「子育て支援研修会」子育て支援に「かたろ」には、県内各地、そして県外からたくさんの方に参加していただきました。この研修会は、地域へ出かけお母さん・お父さん、ボランティアさんなどと語り合った中で生まれた研修会です。参加していただいた方から、「偶然隣の席に座った方と昼食中にお話をして、仲良くなりました。これからお互いの活動の中で交流できたらいいねと話しました。」と、研修会が新しい出会いの場になったと聞き、とても嬉しかったです。研修会が終わりに、「いいお話が聞けてよかったです。」「あつという間の時間でした。」などたくさんの方に声をかけていただきました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

さて、今年一年は、すてきな出会いに恵まれ充実した一年となりました。たくさんの方と子育てについてお話でき、勉強させてもらったことは私たちの今年一番の収穫です。来年も県内のいろんな所へ出かけていきたいと思っています。ご応募お待ちしております。(くらもち)